お知らせ集 & 募集 6月

募集

都留市市民活動推進委員の募集

活動内容 市長の諮問に応じ、市民活動の推進、都留市まちづくり市民活動支援センターの運営などに関する事項を調査審議します。

募集人員 都留市在住で18歳以上の方、若干名

任期 2年

会議 年3回程度

申込締切 7月8日(金)まで

報酬 市の規定により委員報酬を支給します(交通費の支給はありません)。

※希望者多数の場合は、選考させていただきます。

申込・問合先 政策形成課政策担当

暮らし

都留市テレビ利用者組合からのお知らせ

5月よりデジタル7チャンネルにてテレビ東京の配信が始まりました。

ました。テレビをご覧になるには、もう一度デジタルテレビ及びチューナーのチャンネル設定(再スキャン)が必要となります。チャンネル設定は多くの場合リモコンから行うことが出来ますが、機種によっては設定方法が異なりますので、詳細は各取扱説明書や購入された電気店・メーカーにお問合せください。

夜間結婚相談所の開設

相談員が誠意をもって相談にあたります。相談内容など秘密は厳守します。本人または代理人(家族など)の方、お気軽にご相談ください。

日時 第一回目 7月14日(木) 18時30分～20時

第二回目 7月21日(木) 18時30分～20時

場所 ふるさと会館3階研修室

相談員 市結婚相談員

※登録時には、次の書類が必要となります。

○登録申請書(所定用紙あり)

○履歴書(所定用紙あり)

○写真

(申請書は市役所ホームページからもダウンロードできます。)

問合先 市民生活課市民生活担当

ひとりりで悩まず相談を

全国共通 人権相談ダイヤル 0570(003)110

(ゼロゼロ みんなの ひやくとおぼん)

全国の法務局・地方法務局及びその支局の常設人権相談所の電話番号を全国統一番号(ナビダイヤル)とし、相談者からの電話の発信地域に応じて、あらかじめ指定した最寄の法務局などの常設人権相談所に自動的に接続される方式を導入することにより、相談者の利便性の向上を図るためのものです。

受付時間 平日8時30分～17時15分まで

※PHS・一部のIP電話などからは利用できない場合があります。

※秘密は守ります。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じます。

問合先 法務省人権擁護局ホームページをご覧ください。

光化学スモッグ注意報について

強化期間 9月25日(日)まで

■光化学スモッグとは

自動車の排ガスや工場のばい煙には、炭化水素や窒素酸化物が含まれています。これらの物質は、大気中で太陽の強い紫外線を受け、光化学反応と呼ばれる現象を起こします。その時できた「光化学オキシダント」などが、特殊な気象現象になったとき、白いモヤがかかったようになります。この状態を『光化学スモッグ』と呼んでいます。

■光化学オキシダントの影響

主として、目が痛い、涙が出る、せきが出る、のどが痛いといった

粘膜刺激症状、人の呼吸への影響、天然ゴムのひび割れ、農作物被害、退色作用などがあげられます。

■光化学オキシダントの予防対策

光化学オキシダント濃度と気象条件を調べ、光化学スモッグのおそれがある場合には、その程度に応じて予報・注意報・警報・重大警報が発令されます。

■光化学スモッグの発令があったときは：

・なるべく屋外に出ないでください

・屋外での過激な運動はさけてください

※注意報は、日没後も発令状況が継続して行われますが、発令が解除された場合には、防災行政無線でお知らせします。

光化学スモッグの被害を受けた方は、次まで連絡してください。

問合先 富士・東部林務環境事務所環境課

☎(45)7811

または都留市役所市民生活課

市民生活課からのお知らせ

犬・猫の飼い方のマナーを守りましょう

犬や猫の飼い方のマナーを確認し、近所に迷惑をかけないよう心がけ、人もペットも住みやすいまちにしていきたいです。

・放し飼いはしないでください

放し飼いは、近所に迷惑をかけるだけでなく、交通事故などに遭う原因にもなります。大事な猫は、屋内飼養を。特に犬は、

縄や鎖などでつなぎとめる事が義務付けられています。

・フン書で迷惑していません

散歩コース近隣の住民の皆さんがとも困っています。散歩時にはビニール袋などを携帯し、フンは必ず持ち帰りましょう。

・名札などをつけてください

迷子になった場合でも、飼主のもとへ戻れるように犬は登録鑑札が注射済票を。猫は連絡先を明記した札を首輪などに付けましょう。

・野良猫には、エサを与えないでください

数が増え、近隣の住民が、ごみの散乱や悪臭などで被害をうけています。無責任にエサを与えないでください。

・不妊、去勢を受けさせてください

子犬や子猫を望まない場合は、不妊、去勢手術を。ストレスを抑え、疾病も予防できます。

ペットは、大事な家族です。最後まで愛情と責任を持って飼いましょう。

■飼いの狂犬病予防注射はお済みですか?

狂犬病予防注射は年に1回受けなければなりません。狂犬病は、恐ろしい人畜感染症です。症状が現れてしまうと有効な治療法がなく、ほぼ100%死亡します。4月の集合注射で受けていない場合は、掛かりつけの動物病院で注射を必ず受けてください。

市民生活課 環境創造室